

令和6年三重県議会定例会

教育警察常任委員会

所管事項概要説明

- 1 警察運営の重点について
 - ・ **資料1** 三重県警察の組織…………… 1 頁
 - ・ **資料2** 令和6年三重県警察運営の重点…………… 2 頁

- 2 令和6年度当初予算について
 - ・ **資料3** 令和6年度警察費当初予算…………… 3 頁

- 3 令和5年の犯罪情勢について
 - ・ **資料4** 令和5年中の犯罪情勢…………… 7 頁

- 4 犯罪対策について
 - ・ **資料5** 犯罪対策…………… 8 頁

- 5 地域警察活動について
 - ・ **資料6** 地域警察活動…………… 9 頁

- 6 交通安全対策について
 - ・ **資料7** 交通安全対策…………… 10 頁

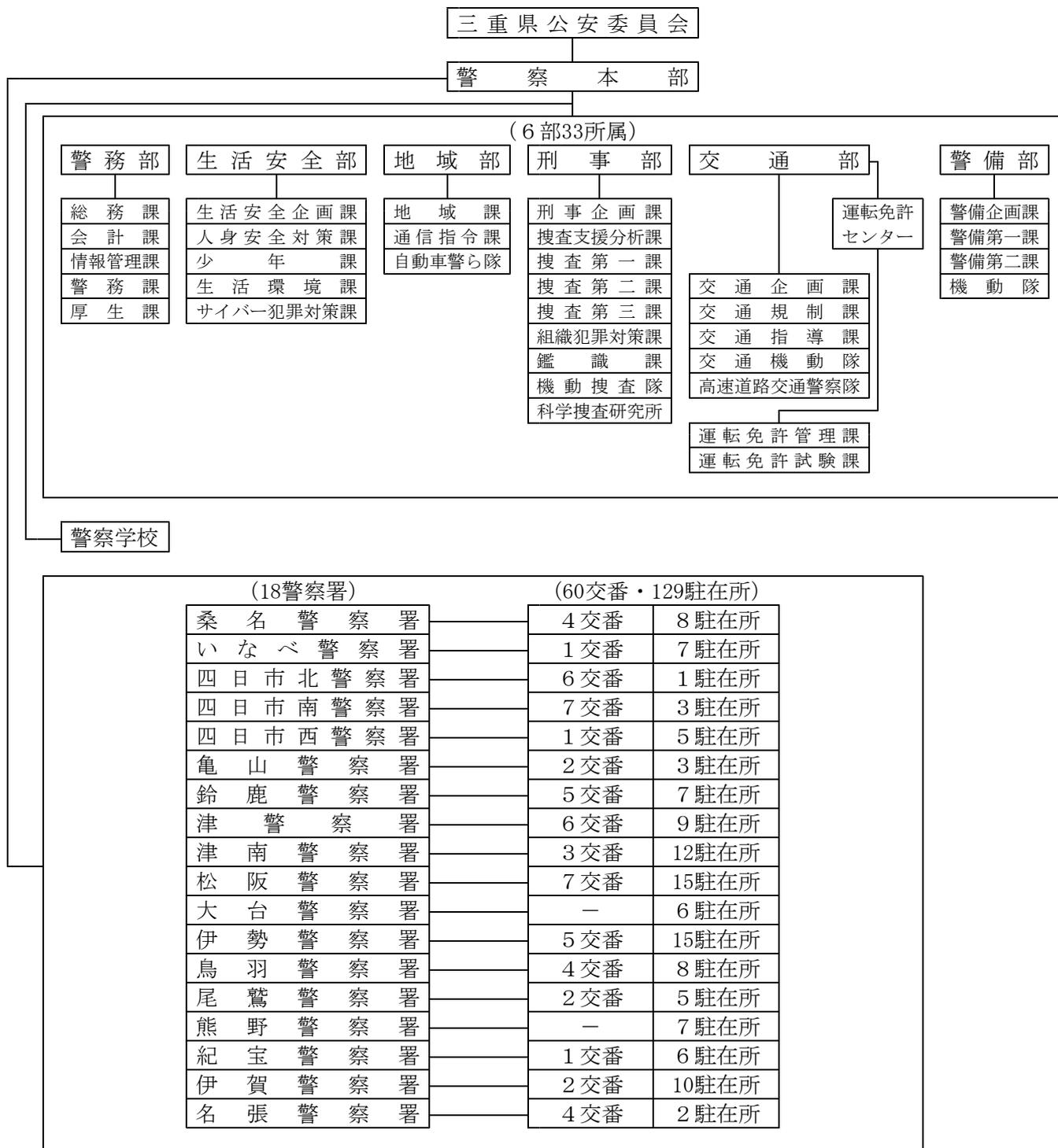
- 7 テロの未然防止対策と大規模災害等緊急事態対策について
 - ・ **資料8** テロの未然防止対策と大規模災害等緊急事態対策…………… 12 頁

令和6年5月23日

警察本部

三重県警察の組織

○ 組織図（令和6年4月1日現在）



条例定員	警察官	3,079人
	一般職員	404人

令和6年三重県警察運営の重点

基本方針

「県民と共に築く安全で安心な三重」の実現
～ 強く・正しく・温かく ～

重点

- 子供・女性等を守る取組と犯罪対策の推進
- 犯罪の早期検挙に向けた総合力による捜査の推進
- 総合的な交通事故抑止対策の推進
- テロの未然防止と大規模災害等緊急事態対策の推進
- サイバー空間の脅威に対処するための取組の推進
- 犯罪被害者等支援の推進

三重県公安委員会 ・ 三重県警察

令和 6 年度警察費当初予算

1 「みえ元気プラン」施策別予算額

(単位：千円)

施策	基本事業	令和 5 年度 当初予算 (A)	令和 6 年度 当初予算 (B)	増減額 (B-A)
1-1	災害対応力の充実・強化	209,957	386,912	176,955
	1-1-1 県の災害即応体制の充実・強化	209,957	386,912	176,955
3-1	犯罪に強いまちづくり	4,698,607	8,257,947	3,559,340
	3-1-1 みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進	154,464	134,201	▲ 20,263
	3-1-2 犯罪の早期検挙のための活動強化	474,237	567,262	93,025
	3-1-3 警察活動を支える基盤の強化	4,062,633	7,548,698	3,486,065
	3-1-4 犯罪被害者等支援の充実	7,273	7,786	513
3-2	交通安全対策の推進	3,901,391	4,942,800	1,041,409
	3-2-1 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた教育・啓発の推進	995,040	1,320,977	325,937
	3-2-3 安全かつ快適な交通環境の整備	2,594,494	3,473,866	879,372
	3-2-4 道路交通秩序の維持	311,857	147,957	▲ 163,900
行政運営	公共事業推進の支援	1,300	1,621	321
	20-7-1 公共事業の適正な執行・管理	1,300	1,621	321
その他		30,337,927	31,955,794	1,617,867
	警察費	39,149,182	45,545,074	6,395,892

2 主要事業

(1) みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進

① (一部新) 特殊詐欺被害防止対策事業 12,484千円

[生活安全企画課]

特殊詐欺の被害防止を図るため、広報啓発活動や講話、寸劇等を通して特殊詐欺の手口や危険性を正しく理解してもらうとともに、防犯機能付き電話機の体験用資機材の活用や自動通話録音警告機貸与事業の拡充を図るなど、防犯機能付き電話機等の設置促進に取り組みます。

② (一部新) 少年警察事業 29,598千円

[少年課・人身安全対策課]

虐待等を受ける危険性のある母子への支援のため、緊急通報装置の貸出を実施するほか、被害聴取における子どもの心理的負担の軽減等のための司法面接に関し、職員に対する研修を実施します。また、SNS等に起因する犯罪被害の実態や危険性、被害防止対策を周知するため、広報啓発に取り組みます。

③ (新) テロ等対策事業 (第44回全国豊かな海づくり大会開催に伴う警備) 7,339千円

<事業実施期間：令和6年度～令和7年度>

[警備第二課]

令和7年に第44回全国豊かな海づくり大会が開催されるため、警備に必要な諸準備を進めます。

(2) 犯罪の早期検挙のための活動強化

(新) 情報技術解析推進事業 75,528千円

[サイバー犯罪対策課]

情報技術解析能力の向上、犯罪の早期検挙のため、情報技術の解析に用いる高度な解析用資機材の新規導入に取り組みます。

(3) 警察活動を支える基盤の強化

①捜査支援システム整備事業 116,004千円

[捜査支援分析課]

捜査支援分析力を強化するため、被疑者の早期検挙や追跡捜査に有効な車両捜査支援システムの拡充に取り組みます。

②警察署庁舎整備事業 3,548,028千円

[会計課]

老朽化や狭隘化した警察署を計画的に整備するとともに、令和5年度に引き続き、大台警察署の建築工事、尾鷲警察署の改修工事等を進めるほか、伊賀警察署の建替整備に伴う移転用地の取得に取り組みます。

③庁舎等施設整備事業（科学捜査研究所整備事業） 88,702千円

[会計課・刑事企画課]

緻密かつ効率的な鑑定を可能とする科学捜査研究所の独立庁舎整備に向け、建築工事に着工します。

④警察官駐在所等整備事業 211,353千円

[会計課・地域課]

交番1施設、駐在所3施設の建替整備を進めるほか、施設の長寿命化に向けた調査や駐在所2施設の改修工事に取り組みます。

(4) 交通安全対策の推進

①交通安全施設整備事業 2,643,280千円

[交通規制課]

令和10年3月末で生産終了となる信号灯器用電球（白熱球）のLED化を前倒しで進めます。また、老朽化した信号制御機、摩耗した横断歩道などの交通安全施設等の更新・整備を行うとともに、道路交通環境の変化等により実態に合わなくなった交通規制の見直しに取り組みます。

②（新）交通警察費（AIを活用した交通事故の発生予測に基づく事故防止対策推進事業） 3,500千円

<事業実施期間：令和6年度～令和8年度>

[交通企画課]

AIが事故発生予測を行う「事故発生リスクAIアセスメント」サービスを導入し、AIが瞬時に抽出した顕在的、潜在的な事故発生予測を活用するとともに、従来の事故分析の精度を上げ、より効果的な事故防止対策に繋がります。

みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進

特殊詐欺の被害防止【重点取組等】

約1,200万円

特殊詐欺の被害防止を図るため、広報啓発活動や講話、寸劇等を通して、特殊詐欺の手口や危険性を正しく理解してもらうとともに、防犯機能付き電話機の体験用資機材の活用や自動通話録音警告機貸与事業の拡充を図るなど、防犯機能付き電話機等の設置促進に取り組みます。

高齢者の心に響く被害防止対策の推進

体験用資機材の活用状況



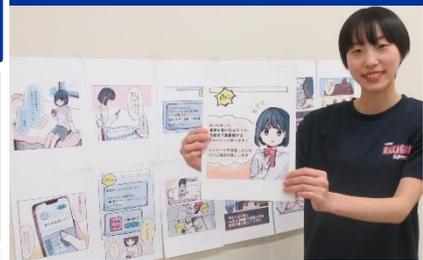
少年警察活動の推進【一部新規】

【子どもを守る取組等】

約3,000万円

虐待等を受ける危険性のある母子への支援のため、緊急通報装置の貸出を実施するほか、被害聴取における子どもの心理的負担の軽減等のための司法面接に関し、職員に対する研修を実施します。 子どもを守る取組 約400万円

危険性を訴える広報の推進



S N S等に起因する犯罪被害の実態や危険性、被害防止対策を周知するため、広報啓発に取り組みます。

犯罪実行者募集情報【闇バイト】
に手を出させない

テロの未然防止【新規事業】

【第44回全国豊かな海づくり大会開催に伴う警備】

約700万円

令和7年に第44回全国豊かな海づくり大会が開催されるため、警備に必要な諸準備を進めます。

行事開催に向けた警備諸対策の推進

警備諸対策の推進



第42回全国豊かな海づくり大会【北海道】

犯罪の早期検挙のための活動強化

情報技術解析の強化【新規事業】

約7,600万円

犯罪の早期検挙のため、情報技術の解析に用いる高度な解析用資機材の新規導入に取り組みます。

先端技術の導入による情報技術解析能力の向上

情報技術解析の状況



警察活動を支える基盤の強化

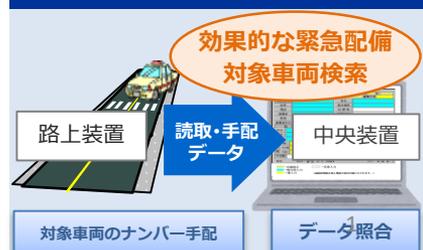
捜査支援分析力の強化

約1億1,600万円

捜査支援分析力を強化するため、被疑者の早期検挙や追跡捜査に有効な車両捜査支援システムの拡充に取り組みます。

システムの整備台数を大幅に増強

車両捜査支援システムの拡充



警察活動を支える基盤の強化【警察署庁舎等の施設整備】

警察署	約35億4,800万円
大台警察署 建築工事等	約21億6,700万円
尾鷲警察署 改修工事等	約9億8,900万円
伊賀警察署 移転用地取得等	約3億9,200万円



科学捜査研究所	約8,900万円
---------	----------

緻密かつ効率的な鑑定を可能とする科学捜査研究所の独立庁舎整備に向け、建築工事に着工します。



交番・駐在所	約2億1,100万円
--------	------------

鳥羽駅前交番の建替整備に際し、施設のZEB化を図ります。駐在所の建替整備（3施設）、長寿命化（2施設）に取り組めます。

交通安全対策の推進

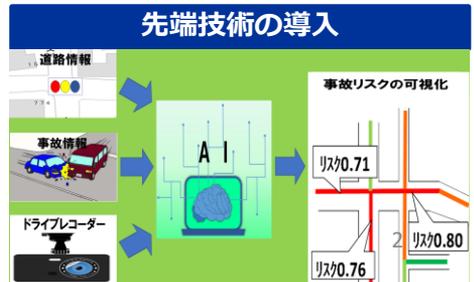
交通安全施設等の整備	約26億4,300万円
信号灯器等	約17億4,000万円
信号灯器のLED化、信号制御機の更新を行います。	
信号灯器LED化【前年度比2,564灯増】車両用1,800灯、歩行者用1,200灯	
横断歩道等	約5億円
横断歩道、停止線、止まれ文字等の塗り替えを行います。	
路側式道路標識等	約1億8,900万円
路側式道路標識等の更新を行います。	
交通管制システム等	約2億1,400万円
システム機器の更新を行うほか、道路環境の変化等に応じた交通規制の見直し等を行います。	



交通安全対策の推進【重点取組】	約400万円
-----------------	--------

先端技術により導き出されたリスク値に基づき、最も効果的な通学路・生活道路等の交通安全対策を実施します。

「事故発生リスクAIアセスメント」サービスの導入



令和5年中の犯罪情勢

1 刑法犯

刑法犯認知件数は9,955件、前年と比べ30.2%の増加

窃盗犯の認知件数は6,909件で刑法犯の69.4%を占め、前年と比べ26.8%の増加

	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙率(%)	検挙人員(人)
刑法犯	9,955(2,308)	3,810(857)	38.3(-0.3P)	2,116(320)
窃盗犯	6,909(1,462)	2,476(618)	35.8(1.7P)	1,085(135)

※ 表中括弧内の数値は、前年比の増減値(以下同じ。)

2 重要犯罪・重要窃盗犯

重要犯罪の認知件数の内訳は、殺人5件(前年比-7件)、強盗15件(同+3件)、放火9件(同+4件)、不同意性交等(改正前の強制性交等を含む。)26件(同+4件)、不同意わいせつ(改正前の強制わいせつを含む。)58件(同+20件)、略取・誘拐及び人身売買3件(同-1件)

重要窃盗犯の認知件数の内訳は、侵入窃盗1,208件(前年比+481件)、自動車盗113件(同+8件)、すり3件(同+1件)、ひったくり5件(同-1件)

	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙率(%)	検挙人員(人)
重要犯罪	116(23)	90(-2)	77.6(-21.3P)	82(4)
重要窃盗犯	1,329(489)	763(439)	57.4(18.8P)	89(2)

3 特殊詐欺

前年と比べ、認知件数・被害額ともに約2倍

手口別では、架空料金請求詐欺の認知件数が151件(前年比+96件)で最多(全体の5割)

	認知件数(件)	被害額(万円)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
特殊詐欺	274(132)	70,760(33,120)	45(6)	15(-3)

4 投資等詐欺

投資等詐欺とは、SNS等を通じて対面することなく交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、投資金名目などで金銭等をだまし取る詐欺や恋愛感情等を抱かせて金銭等をだまし取る詐欺で、令和4年から急増

前年と比べ、認知件数は98件増の119件、被害総額は約8億8千万円増の約11億6千万円と、極めて深刻な状況

	認知件数(件)	被害額(万円)
投資詐欺	119(98)	115,970(88,000)

5 暴力団犯罪

主な検挙罪種は、刑法犯が窃盗(12人)、詐欺(10人)、傷害(10人)、特別法犯が覚醒剤取締法違反(23人)、麻薬等特例法違反(4人)

	検挙人員(人)	うち刑法犯(人)	うち特別法犯(人)
暴力団犯罪	85(-6)	48(-19)	37(13)

6 薬物事犯

検挙人員の年代別は、覚醒剤取締法違反の最多が40歳代(23人)、大麻取締法違反の最多が20歳代(12人)

	検挙件数(件)	検挙人員(人)
覚醒剤取締法違反	91(-5)	63(16)
大麻取締法違反	39(-9)	29(7)

7 来日外国人犯罪

主な検挙罪種は、刑法犯が窃盗(340件・53人)、特別法犯が出入国管理及び難民認定法違反(37件・24人)

来日外国人犯罪	検挙件数(件)	うち刑法犯(件)	うち特別法犯(件)
	472(345)	407(334)	65(11)
来日外国人犯罪	検挙人員(人)	うち刑法犯(人)	うち特別法犯(人)
	147(48)	105(46)	42(2)

犯罪対策

1 総合的な犯罪対策の推進

- (1) 各地域における犯罪情勢の的確な分析による犯罪防止対策の強化
- (2) 地域住民、防犯ボランティア団体等に対する犯罪発生情報・防犯情報等の発信
- (3) 自治体、地域住民、防犯ボランティア団体等と連携した合同パトロールなどの犯罪防止に向けた取組の推進
- (4) 防犯ボランティア団体に対する活動用物品の支援等

	R1	R2	R3	R4	R5	前年比
団体数	689	808	887	910	917	+7
活動人員	36,497	34,312	35,309	34,500	34,268	-232

2 子供・女性等を守る取組の推進

- (1) ストーカー・配偶者からの暴力事案・児童虐待事案対策
 - ア 関係機関と連携した被害者等の安全確保を最優先とした対応
 - イ 加害者の検挙や法令に基づく行政措置の実施
- (2) 子供・女性の犯罪被害防止対策
 - ア 通学路や登下校時間帯等に重点を置いた見守り・パトロール活動の強化
 - イ 声掛け・つきまといなど性犯罪等の前兆事案を把握した際の行為者に対する検挙又は指導警告措置の推進
 - ウ 児童・生徒等に対する防犯教室・被害防止教室等の実施

3 特殊詐欺被害防止対策の推進

	R1	R2	R3	R4	R5	前年比
認知件数	79	122	110	142	274	+132
高齢者被害件数(割合)	51(64.6%)	94(77.0%)	90(81.8%)	115(81.0%)	176(64.2%)	+61(-16.8%)
被害額(約 万円)	11,840	42,820	19,250	37,630	70,760	+33,120

- (1) 基本方針
 - ア 高齢者が犯罪者グループ等からの電話を受けないための対策の推進
 - イ 県民の警戒心・抵抗力を向上させるための広報啓発の推進
 - ウ 金融機関、コンビニエンスストア等と連携した水際対策の強化
- (2) 被害防止対策への取組
 - ア NTTが実施する取組(ナンバー・ディスプレイ及びナンバー・リクエストの無償化等)の周知
 - イ 防犯機能付き電話機等の設置促進(自動通話録音警告機の無償貸出等)
 - ウ 広報啓発等の推進

4 SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止対策の推進

	R1	R2	R3	R4	R5	前年比
認知件数	4	3	11	21	119	+98
被害額(約 万円)	6,820	1,430	5,320	27,970	115,970	+88,000

- (1) 金融機関、証券業協会等との連携の強化
- (2) 各種媒体を活用した広報啓発の推進

5 サイバー空間の脅威に対処するための取組

- (1) 高度な情報技術等を悪用したサイバー犯罪の取締り
- (2) 官民一体となった被害防止対策の推進
- (3) 人材育成・資機材の整備等による対処能力の向上

	R1	R2	R3	R4	R5	前年比
サイバー犯罪相談受理件数	2,180	2,203	3,136	3,785	3,830	+45

地域警察活動

地域警察は、昼夜を分かたず常に警戒体制を保ち、様々な警察事象に即応する活動を行うことにより、地域住民の安全・安心の確保に努めています。

1 交番・駐在所の活動

- (1) 警ら、立番等による警戒活動
- (2) 地域住民と連携した活動
- (3) 事件・事故への即応



2 パトカーによる警ら活動

- (1) パトカーの機動力をいかした機動警ら
- (2) 事件・事故発生時における迅速かつ的確な初動措置



3 110番通報の受理

- (1) 110番通報の受理
- (2) 警察官への現場急行や必要な措置の指令



4 鉄道警察隊の活動

- (1) 列車警乗
- (2) 駅・ホーム等の警戒警備
- (3) 鉄道事業者と連携した不審者対応訓練
- (4) 関係機関と連携した痴漢盗撮等の撲滅に向けた広報啓発活動



5 山岳遭難及び水難に対する活動

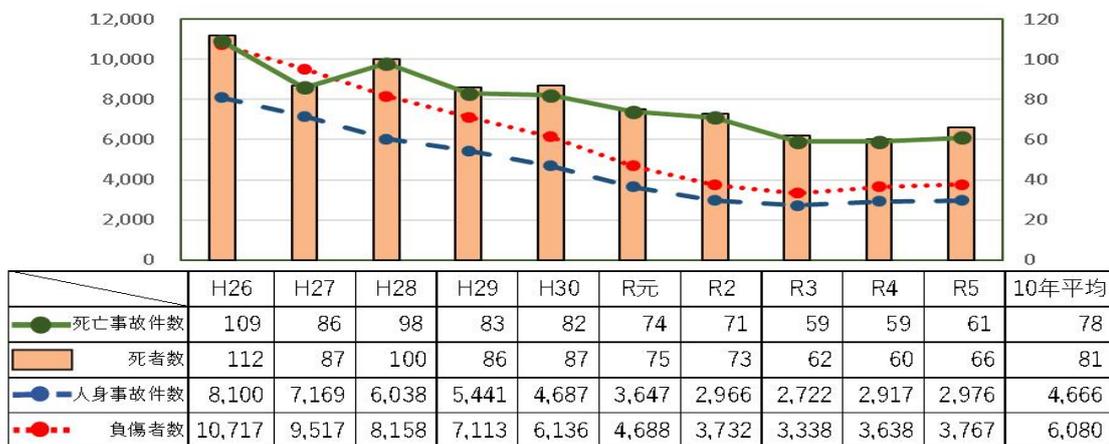
- (1) 山岳遭難及び水難防止に向けた警ら、広報啓発活動
- (2) 救助技術の向上を図るための救助訓練
- (3) 関係機関・団体等と連携した捜索救助活動



交通安全対策

1 交通事故情勢

交通事故の状況（平成26年～令和5年）



(1) 令和5年中の死亡事故は61件66人と、前年と比較して2件6人増加し、人身事故件数、負傷者数も増加しました。

(2) 令和5年中の死亡事故の特徴

- 高齢死者が半数
- 交通弱者（歩行中・自転車乗用中）が約4割
- 二輪車乗車中の死者が増加
- シートベルト非着用者が約3割
- 飲酒運転の根絶に至っていない

【内 訳】

- ・ 高齢死者…………… 33人（－8人） 【構成率50.0%】
 - 〔自動車乗車中…………… 12人（－5人）
 - 〔二輪車乗車中…………… 3人（＋1人）
 - 〔自転車乗用中…………… 3人（－2人）
 - 〔歩行中…………… 15人（－2人）
- ・ 交通弱者死者…………… 25人（－4人） 【構成率37.9%】
 - 〔歩行中…………… 18人（－3人）
 - 〔うち夜間の歩行中…………… 10人（－3人）
 - 〔自転車乗車中…………… 7人（－1人）
- ・ 二輪乗車中死者…………… 14人（＋8人）
- ・ 自動車乗車中死者…………… 27人（＋2人）
 - 〔うちシートベルト非着用…………… 9人（－1人） 【構成率33.3%】
- ・ 原付以上の第1当事者事故… 60件（＋8件）
 - 〔飲酒運転…………… 4件（±0件）

2 歩行者・自転車の交通事故防止対策

(1) 歩行者保護対策

ア 運転者の交通ルール遵守の徹底

信号機のない横断歩道における車両停止義務の周知や歩行者保護意識の醸成を図る「ACTION 38 キャンペーン」を推進します。

イ 歩行者の交通ルール遵守の徹底

少し手を上げて横断するなど、歩行者が自らの安全を守るための交通行動を促す「横断歩道“ハンドサイン”キャンペーン」を推進します。

【信号機のない横断歩道における自動車の停止率調査】

- ハンドサインなし：停止率 57.9%
- ハンドサインあり：停止率 84.9%

※ 令和5年県警察による調査

(2) 自転車対策

高校生等を「セーフティ・バイシクルリーダー」に委嘱するなどして、自転車乗車用ヘルメットの着用促進や自転車利用時の基本的な交通ルールの周知を図る広報啓発活動を推進します。

(3) 悪質・危険な交通違反の指導取締り

通学路などの生活道路において、横断歩行者妨害取締りや移動オービスを活用した速度取締り等を推進します。

3 高齢者の交通事故防止対策

(1) 運転者対策

高齢者の加齢に伴う身体機能の変化が運転行動に及ぼす影響等を踏まえ、

- ・事故を起こした運転者に対する個別指導
- ・運転免許証の自主返納等を促す取組

等を推進します。

(2) 歩行者対策

運転免許を保有せず、運転免許の更新時講習等交通安全教育を受ける機会の少ない方もいることから、関係機関・団体等と連携して

- ・高齢者交通安全の日(S・Sデー)を設定しての街頭指導
- ・参加・体験・実践型の交通安全教育
- ・高齢者交通安全アドバイザーによる高齢者宅訪問指導活動

等を推進します。

4 安全かつ快適な交通環境の整備

(1) 信号灯器のLED化

信号灯器用電球(白熱電球)の生産が令和10年3月末で終了することから、信号灯器のLED化を推進します。

※ 令和6年度整備予定 車両用灯器1,800灯、歩行者用灯器1,200灯の計3,000灯

(2) 老朽化した交通安全施設等の更新

交通の安全と円滑を図るため老朽化した信号制御機、路側式道路標識の更新、摩耗した横断歩道等道路標示の塗り替えを行うなど、交通安全施設等の更新を推進するほか、道路交通環境の変化等により、実態に合わなくなった交通規制の見直しを進めるなど、交通安全施設等の適正な維持管理を推進します。

シンボルマーク



【移動オービス】

テロの未然防止対策と大規模災害等緊急事態対策

1 テロの未然防止対策

テロ等重大事案の未然防止に向けて、関連情報の収集・分析、水際対策、警戒警備、警衛・警護等の諸対策を推進しています。

また、関係機関、民間事業者等と連携した官民一体となったテロ対策を推進しています。

(1) 警察における各種対策

ア 情報の収集・分析、水際対策

- ・ 警察活動を通じたテロ関連情報の収集・分析と警備諸対策への活用
- ・ 出入国在留管理庁、海上保安庁、税関等関係機関との情報共有と共同訓練の実施

イ 警戒警備

- ・ 重要施設、大型商業施設、公共交通機関、不特定多数の人が集まる各種イベント会場等に対する警戒警備の実施
- ・ 皇室の方々の警衛や政府要人等に対する警護の実施



【国際港湾における水際対策実働訓練】



【イベント会場における警戒警備】



【要人に対する警護】

(2) 官民一体となったテロ対策

ア テロ対策パートナーシップの活用

「テロ対策三重パートナーシップ推進会議」を活用したテロに対する危機管理意識の共有及びテロ等発生時を想定した合同対処訓練の実施

イ 爆発物の原料となり得る化学物質の販売事業者等との連携

薬局等の販売事業者等に対する適正な保管管理・不審情報の早期通報の要請及び不審購入者の来店を想定したロールプレイング型訓練の実施

ウ 重要インフラ事業者等との連携

「三重県サイバーテロ対策協議会」等の枠組みを通じたサイバー攻撃の脅威や情報セキュリティに関する情報提供、サイバー攻撃の発生を想定した共同対処訓練の実施



【鉄道事業者との合同対処訓練】



【薬局での不審購入者対応訓練】



【サイバーテロ対策協議会】

2 大規模災害等緊急事態対策

南海トラフ地震をはじめとした大規模災害発生時や武力攻撃事態等の発生時において、県民の安全確保に全力を尽くすことができるよう、初動態勢の確立や事態対処能力の向上に向けた取組等を推進しています。

(1) 大規模災害への対処

ア 災害対処能力の向上

- ・ 大規模災害の発生に備えた態勢の整備、各種計画の見直し
- ・ 災害警備本部運営訓練や代替施設への移転訓練の実施
- ・ 南海トラフ地震等を想定した図上訓練や救出救助等の実戦的訓練の実施
- ・ 各種災害対策用装備資機材の点検・整備

イ 自治体や防災関係機関との連携

- ・ 県、市町が主催する防災関係会議や防災訓練への参画
- ・ 消防、自衛隊、海上保安庁等関係機関と連携した実戦的訓練等の実施



【災害警備本部運営訓練】



【関係機関との救助訓練】



【警察用航空機による救助訓練】

(2) 武力攻撃事態等への対処

ア 対処態勢の確立

- ・ 三重県警察国民保護警備計画の策定
- ・ 被災情報等の収集、住民避難等の対処要領の習熟

イ 関係機関との連携強化

- ・ 自衛隊との共同実動訓練の実施
- ・ 国、県等が主催する国民保護訓練等への参画



【自衛隊との共同実動訓練】



【国民保護共同実動・図上訓練】

